

第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」は第7日の7日、栃木県内各地で14競技を行った。県勢は、陸上成年女子砲丸投げで、菊池聖奈（日大）が14.51と43年ぶりに県新記録を更新し、5位入賞。自転車では、成年男子1kmタイムトライアル決勝で、畑崎大輝（八戸学院大）が1分5秒401で3位となった。ソフートニス少年女子は、初戦の2回戦で強豪の香川と対戦。シングルスで出場した東北中3年の天間麗奈が高校生を相手に4-0と快勝したものの、ゲームスコア1-1で迎えた第3戦の途中、差天により全試合が中止となり、勝敗の行方は8日に持ち越された。カヌーは、成年女子スプリント・カヤックシングル（500m）で佐藤友香（県カヌー協会）、少年女子向て山下来心（東奥義塾高）がともに準決勝進出。ボクシングは、少年男子バンタム級の伊藤優希（青森山田高）、ライト級の秋元啓介（同）がそれぞれ準々決勝に駒を進めた。第8日の8日は17競技を行う。

（成田亮、吉田希望）

2022
栃木国体
第7日

畑崎（八学大）**3位** 成年男子
千メートルTT

自転車
（宇都宮競輪場）



自転車成年男子1000mタイムトライアルで3位に輝いた八戸学院大の畑崎（関係者提供）

会心の**1分5秒401**

自転車成年男子1000mタイムトライアル決勝で1分5秒401の自己ベストをマークし、全国の舞台上で初の表彰台に

立った畑崎（八戸学院大3年）。レース後には、八戸工高時代の恩師でもある大野監督から祝福され、「すごいうれしい」と自然と笑みをこぼした。レースでは肌寒さや若干の風を感じたというが、スタートを決めると、そのまま軽快なスピードで駆け抜けて好走。「ギアの選択がマッチし、スタートもミスがなかったことが良いタイムにつながった。チームのみんなのサポートや、周りで応援してくれたことが力に

なった」と周囲への感謝を口にした。今季は国体でオフシーズンに入るが、この勢いのまま、来年のインカレ優勝を目指す。会心のレースで深めた自信を胸に「最低でも1分3秒台を出したい」と意気込みを語った。

（成田亮）